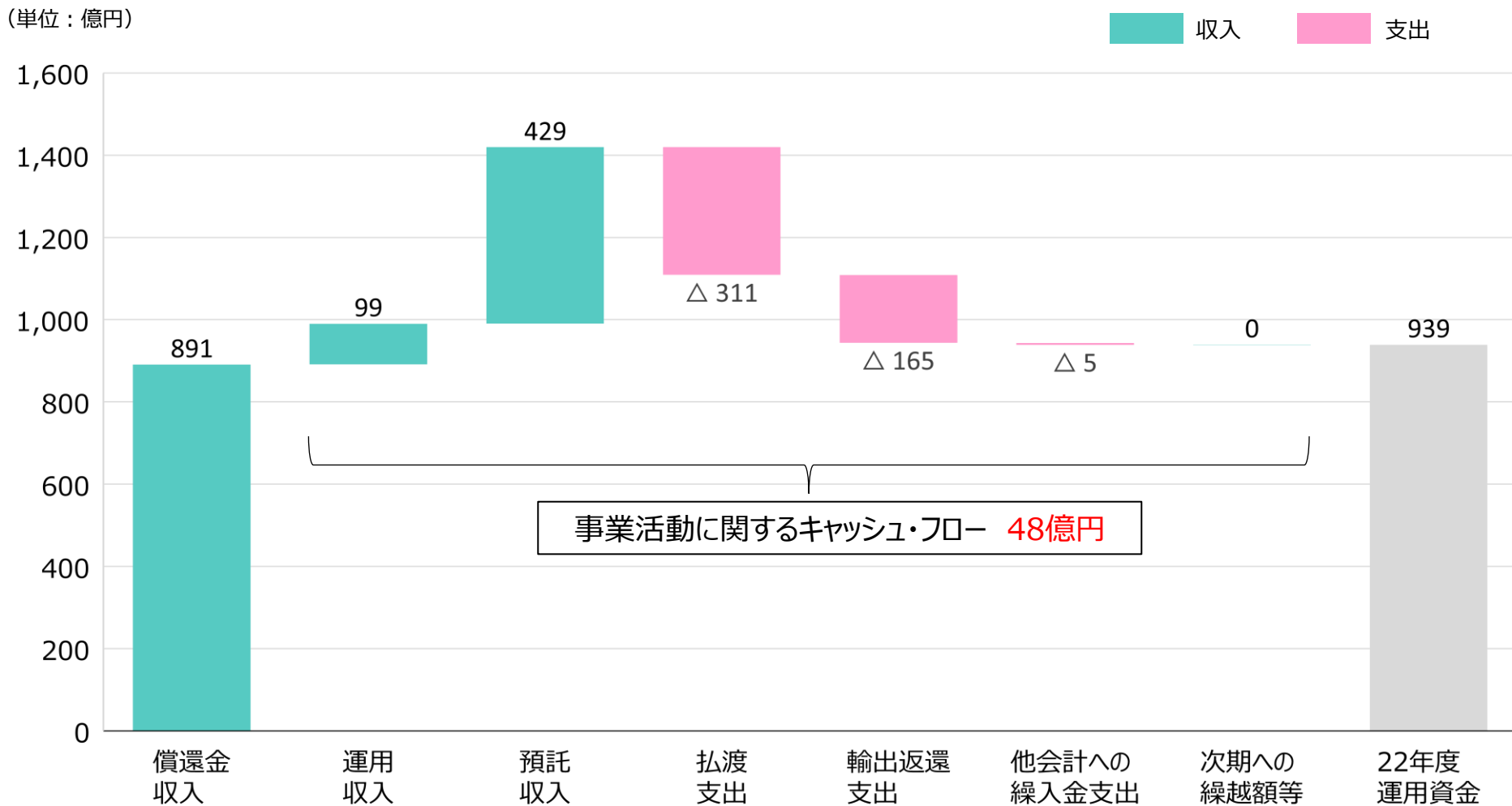


# 2022年度運用実績 (1) 運用資金

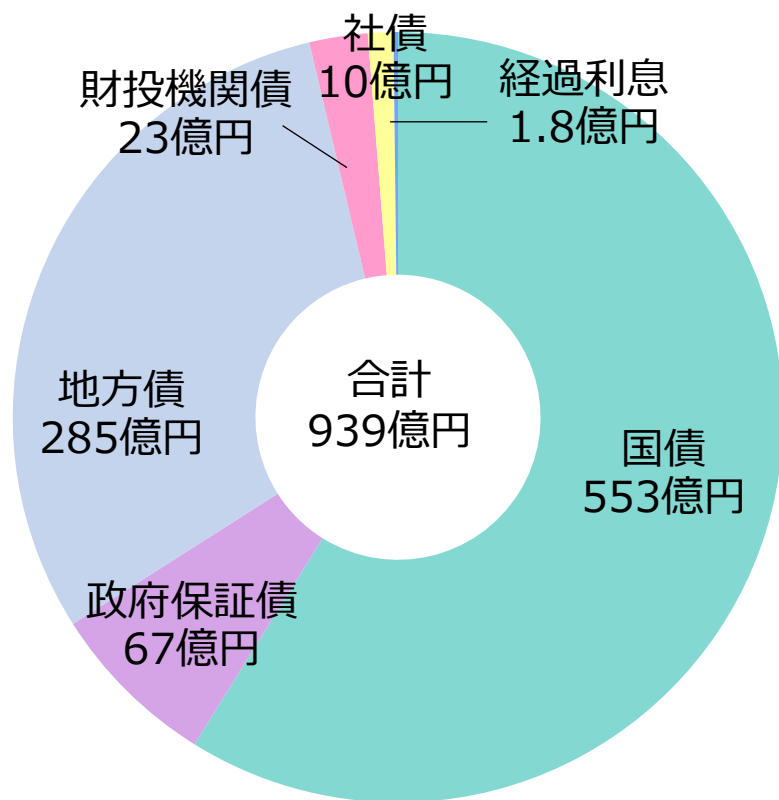
2022年度の運用資金は939億円。事業活動に関するキャッシュ・フローが48億円のプラスとなったため、償還金収入891億円を上回る。



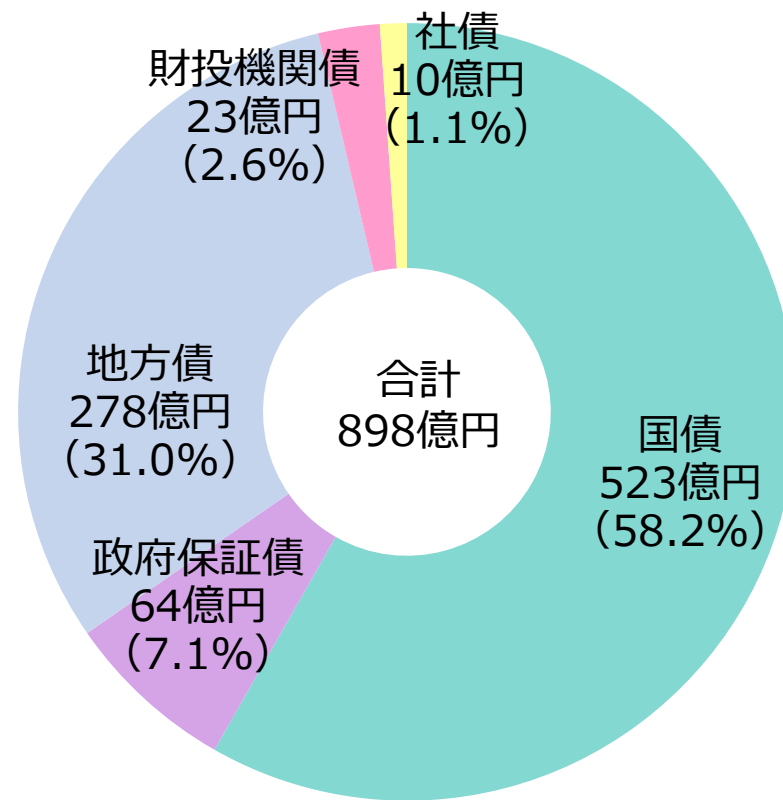
## 2022年度運用実績 (2) 債券運用の実績

2022年度は、年限5年、10～15年の債券を額面898億円取得した。

簿価ベース



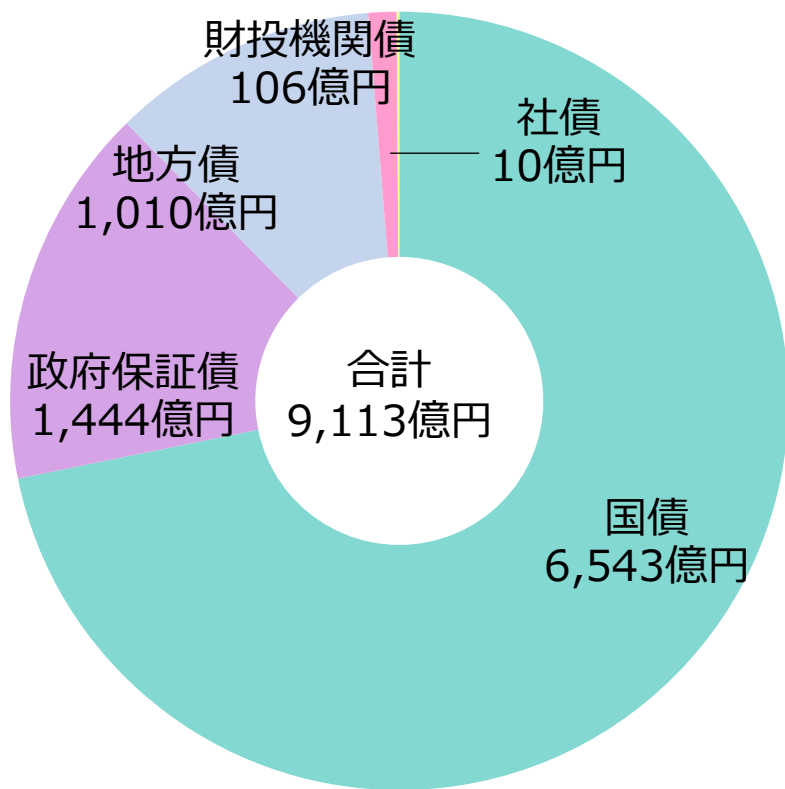
額面ベース



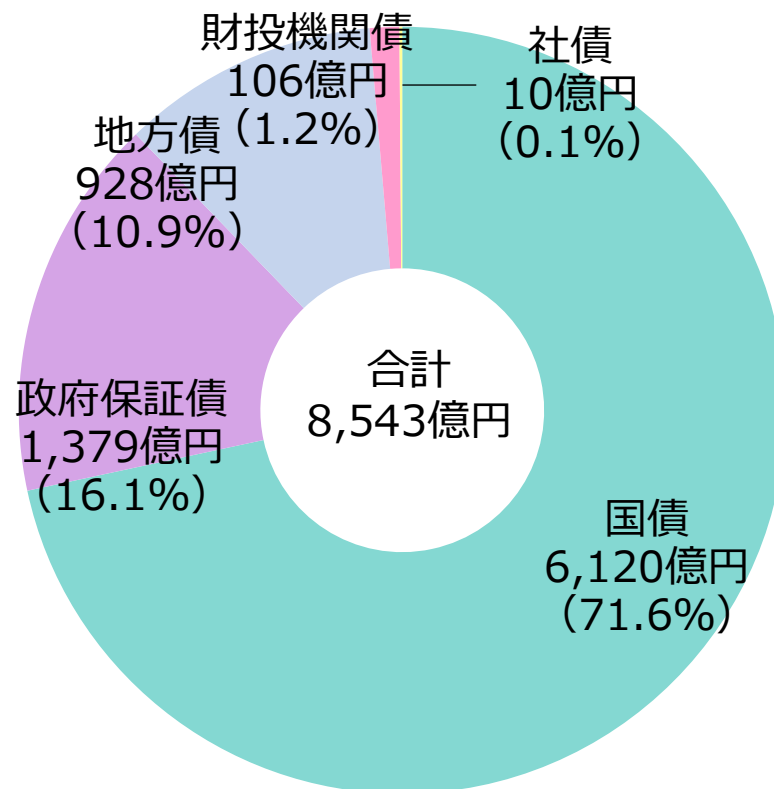
## 2022年度運用実績 (2) 債券運用の実績

2022年度末における保有債券の額面残高は8,543億円となった。

簿価残高ベース

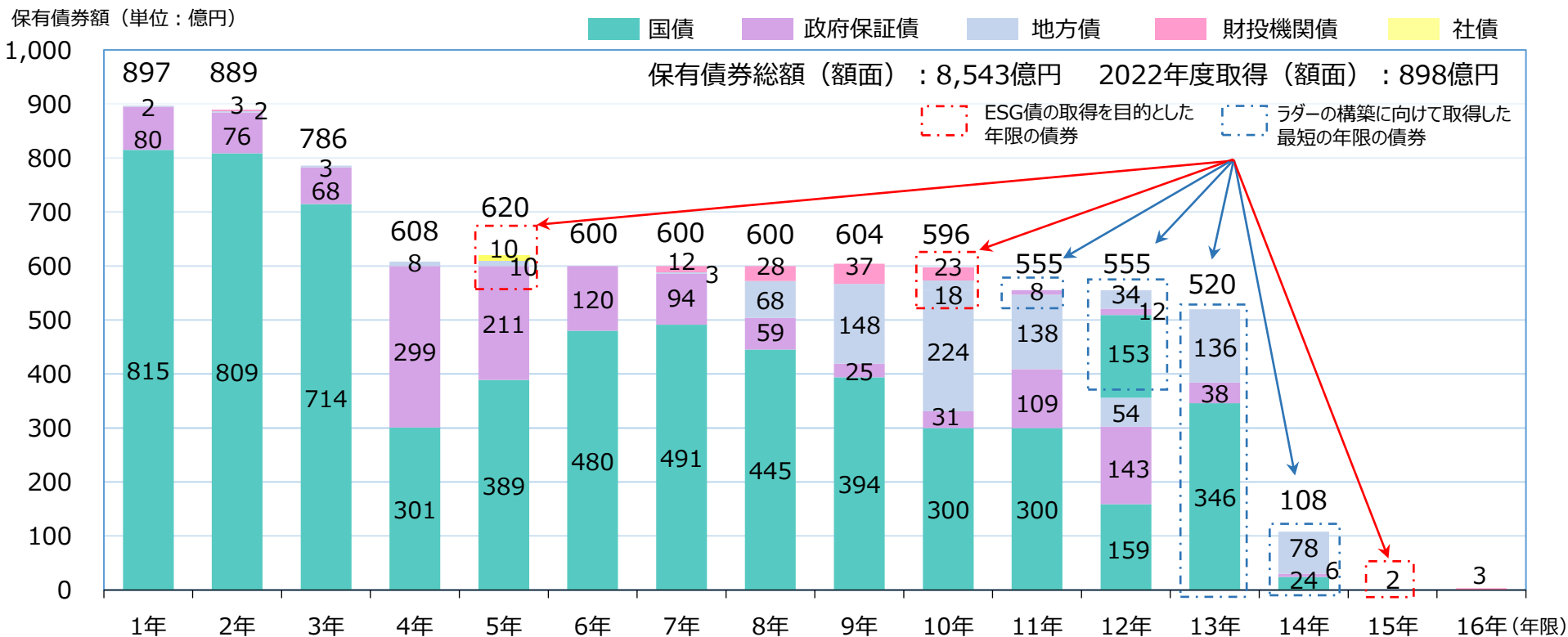


額面残高ベース



# 2022年度運用実績 (2) 債券運用の実績

2022年度は年限5年、年限10年～年限15年の債券（額面898億円）を取得した。また、①～④の評価基準に適合したが、⑤の一部の評価基準には不適合となった。



## <評価基準>

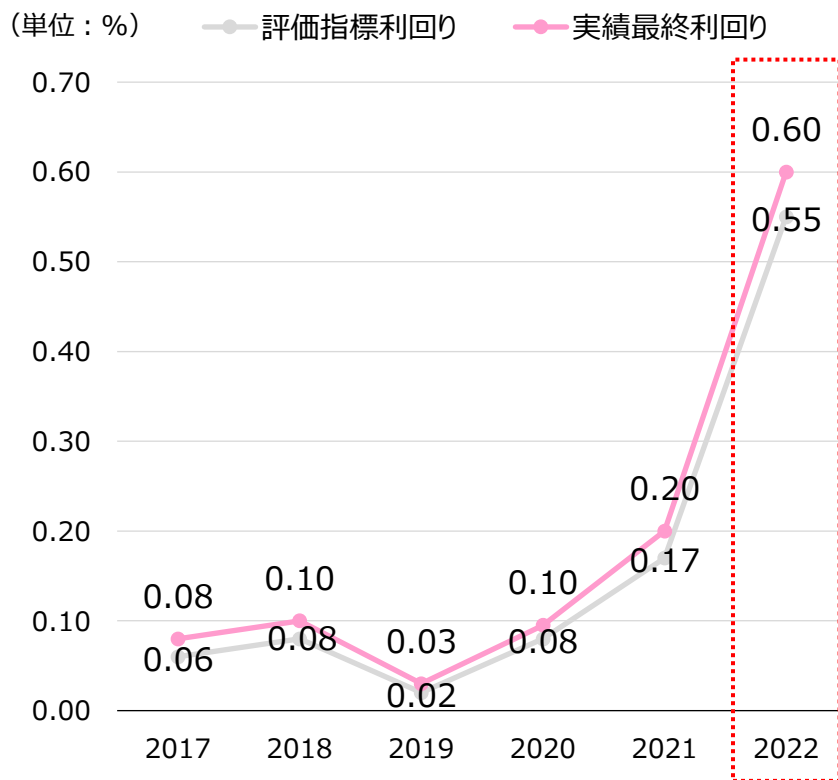
- ① 年限4年以降で額面残高600億円程度まで構築した年限において、許容乖離幅が600億円から±5%の範囲に収まっていること。
- ② 年限4年以降で額面残高600億円程度まで構築した年限において、国債以外の債券の合計額が国債の額を超える場合は、国債の額からの乖離幅が5%以内に収まっていること。
- ③ 財投機関債及び社債の保有上限額（額面ベース）が、ポートフォリオ全体のうち5%を超えていないこと。
- ④ 社債の保有額が財投機関債の保有額を超えていないこと。
- ⑤ 財投機関債の新規取得額面が45億円、社債の新規取得額面が8億円を超えていないこと。

→ (実績) 社債の新規取得額が10億円となり2億円超過した

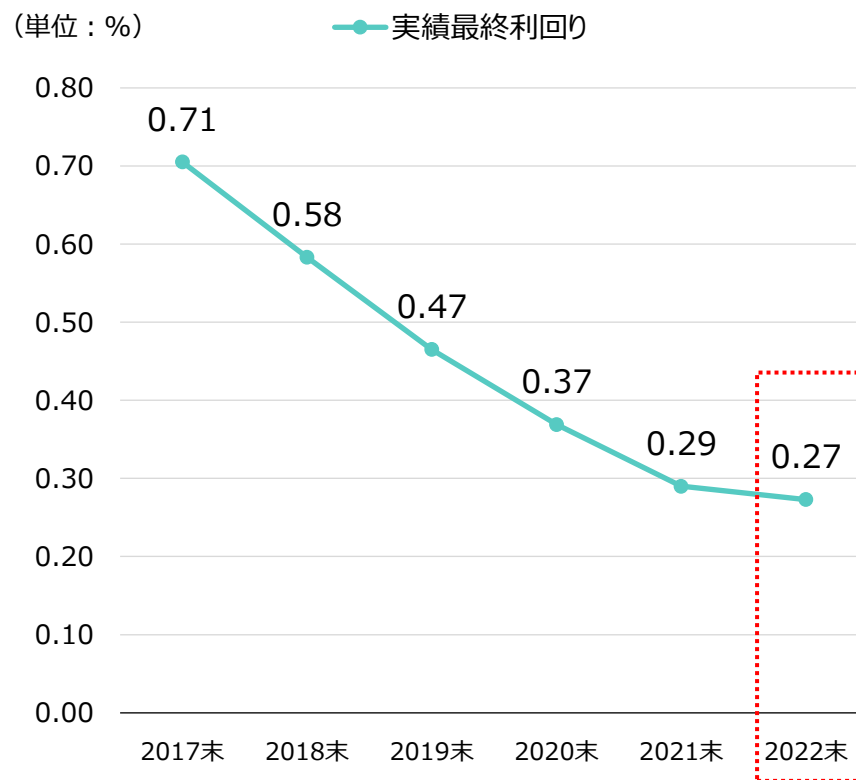
## 2022年度運用実績 (2) 債券運用の実績

実績最終利回りは0.60%となり、評価指標利回り0.55%を上回る結果となった。また、継続的な低金利環境下にあるため、資産全体の利回りは低下傾向にあり、2022年度末時点では0.27%となった。

### 新規取得債券の利回り



### 資産全体の利回り



\* 「評価指標利回り」とは債券を取得した年限の日々の市場における利付国債の最終利回り（単利）を、年限ごとの債券の取得比率実績により加重平均したもの。

## 2022年度運用実績 (3) ESG債の取得

2022年度においてはESG債を63億円取得（内訳：グリーンボンドを26億円、ソーシャルボンドを13億円、サステナビリティボンドを23億円、サステナビリティ・リンク・ボンドを1億円）。本財団が投資表明をした債券は下表のとおり。

### 【グリーンボンド】

種別	発行体
地方債	川崎市
	仙台市
	兵庫県
	神奈川県
	大阪府
	愛知県
	京都市
	福岡市

### 【サステナビリティ・リンク・ボンド】

種別	発行体
地方債	滋賀県

### 【ソーシャルボンド】

種別	発行体
地方債	東京都
財投機関債	独立行政法人福祉医療機構
	東日本高速道路株式会社

### 【サステナビリティボンド】

種別	発行体
地方債	北九州市
	埼玉県
財投機関債	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
	沖縄振興開発金融公庫

# 2022年度運用実績 (3) ESG債の取得

2022年度末時点における保有債券全体に占めるESG債の割合は2.7%となった。

保有債券全体に占める  
ESG債の割合 (額面)

ESG債の種別構成 (額面)

